

## 第二期「矢祭子ども司書」講座修了にあたって

「矢祭子ども司書」は、昨年全国に先がけて町独自の手法により開講して、今年2年目になります。活動を展開するにあたり、何より学校、PTA、地区子ども会など多くの行事がある中で、子ども達の負担になりはしないか、そのことが第一の心配事でありました。

しかし、受講生は意欲的に取り組み、19名全員が認定に課した条件を見事にクリアして今日の日を迎えました。そして、何よりも嬉しいことは、主催側の意図する「本に親しみ、楽しく学ぶ」ことを実践してくれたことです。この講座で、子ども達に望むことは、決して司書の仕事をマスターすることではありません。今、子ども達に求められる豊かな創造性、人を思いやる心、生きる力の根幹をなす本の力、読書という世界にふれていただきたいということでした。今年度の子ども司書第二期生も町内すべての小学校から誕生しましたが、講座を通して学んだことは、本や図書館との関わりはもちろん、学校を超えた人との関わりも大きな財産になったことでしょう。そのひとつひとつを大切に、周りの友達や、家族、多くの人に対して接して欲しいと願うものです。

今回の講座の成果によって、継続的必要性の確信を得られましたことは、読書で人づくりを進める矢祭町にとって何よりの喜びです。第二期生のがんばりにあらためてエールを送り、また、手探りで受講生と向き合って事業をサポートしてくれた下重司書はじめ、矢祭もったいな図書館のスタッフの方々にも賛辞を送りたいと思います。

最後に当講座に際し、ご支援を賜りました県をはじめ、県立図書館、俳人協会、家読推進プロジェクト、各小学校、保護者並びに関係皆様に深く感謝を申し上げます。

<矢祭町教育委員会教育長 二階堂章信>